

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ劇2

国立市立国立第七小学校

平成27年1月21日 NO.76 (176)

オー君 「あーあ、つまないな。冬は虫がいなくてつまないなー。」

花ちゃん 「冬は咲く花もないし、とってもさみしいわ。早く春が来ないかな。」

オー君 「ぼく、かえ歌作ったよ。こんなのどうかな？」



♪春よ来い 早く来い

花ちゃん オー君

ひまですよ

なんだか

とってもひまですよ

早く来い来い

春よ来い♪

春よ来い 作詞:相馬御風

作曲:弘田龍太郎

♪春よ来い 早く来い

あるきはじめた みいちゃんが

赤い鼻緒の じょじょはいて

おんもへ出たいと 待っている♪

どうだい! けっさくだろう。」

花ちゃん 「まあまあというところかな。本当に早く春が来ないかな。」

モンタ博士 「二人とも元気ないね。春はまだまだ先だよ。でもね、モンタ博士は、今ごろの季節も好きだね。春が来るのを待つというのも好きだね。」

花ちゃん 「でも、モンタ博士、お花はさいてないし、葉っぱを落としてしまった木ばっかだもん。秋には、きれいなモミジの落ち葉を見つけたりして楽しかったのにさ・・・。」

オー君 「あ!でも、この前の全校朝会で、冬芽とって、春になったら、葉っぱになったり、花をさかせるものがついているんだ。」

花ちゃん 「そうだったわね。冬芽は何枚もタケノコみたいに、皮をかぶっているものが多いそうでしたね。」

オー君 「それから、もこもこの毛皮のコートを着たりしているものもあるんだ。」

花ちゃん 「それから、厚い革のジャンパーを着たりしているものもあったわ。」

4年生 K君 「ねえねえ、花ちゃん! オー君! 今は、ちっともひまなんかじゃないよ。ぼく

たちは、^{おおいそが}大忙しだよ。」

4年生 S 君「そうだよ。ぼくたちは、^{はかせ}モンタ博士の^{てつだ}お手伝いで^{なかやす}中休みや^{ひるやす}昼休みは、^{ちょう}超
^{いそが}忙しいんだよ。ちょっと^{てつだ}手伝ってよ。」

花ちゃん「え！ひまじゃない？^{なん}何をやっているんですか。」

オー君「え！^{いそが}忙しい？^{なん}何をやっているんですか。」

4年生 K 君「この^{まえ}前、^{ぜんこうちょうかい}全校朝会で『^{とうが}冬芽』のお話を^{はなし}してくれただろう。それでね、^{こうてい}校庭
の^きあちこちの木の^{ふゆめ}冬芽を集めてね、^{こうちょうしつ}校長室の^{まえ}前に^{てんじ}展示しているんだよ。

4年生 S 君「それでね、^{やす}休み時間^{じかん}となると、^{てつだ}お手伝いで^{おおいそが}大忙しさ。お願^{ねが}いだから^{てつだ}手伝って
おくれよ。たのむよ。」

オー君「ヨッシャー！まかせておくれ！いっしょにやらせておくれ。」

花ちゃん「わたしも^{てつだ}お手伝いをさせてください。」

4年生 K 君「それでは、^{みず}フラスコにお水を入れて、それに『^{とうが}冬芽』を^い入れるのさ。」

4年生 S 君「そうすれば、^{ぜんこう}全校の^こ子ども^{たち}達^みが見たりさわったりできるだろう。」



オー君「こうやって^{なら}並べてみると、いろいろと^{かん}にぎやかな感じになりますね。」

花ちゃん「そうね。それでは、一つ一つの^{ふゆめ}冬芽を^みていねいに見ていきましょう。」